

2021年度 委員会事業報告書

担当副理事長 安井貴仁
魁！組織力向上委員会 委員長 田島成剛

1. 委員会開催日 (12回)

| | | | | | |
|------|------|------|-------|-------|-------|
| 1/13 | 2/10 | 3/9 | 4/5 | 5/7 | 6/3 |
| 7/13 | 8/25 | 9/17 | 10/19 | 11/15 | 12/22 |

2. 事業報告

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| (1) 例会の担当 | 3月18日・11月18日 |
| (2) 新入会員予定者オリエンテーションの担当 | 7月29日・8月31日・9月29日 |
| (3) 日本JC 京都会議の担当 | 1月22日～24日 |
| (4) 愛知ブロック 愛知ブロック大会の担当【知多】 | 9月11日 |
| (5) 新入会員募集の担当 | 通年 |
| (6) 新入会員拡大の担当 | 通年 |
| (7) 新入会員育成の担当 | 通年 |

3. 委員会メンバー

田島成剛 高鋤佑基 永坂規明 朝日将貴 加藤康臣
新入会員：沖尚也 三浦知将 遠藤奨太 伊藤翔太 奥田良太

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、年間を通して、多くの同志を迎え入れ、メンバー一人ひとりが自信をもって胸を張り、至誠一貫の精神で青年会議所活動に取り組むことで、海部津島を先導する組織となることを目指し活動してまいりました。

まずは、当委員会が起点となり、メンバー間で情報を常時共有し、行動へ移すことで、メンバーの拡大意識を盛り上げ、まだ見ぬ同志と直接会い青年会議所の魅力、熱い想いを真正面からぶつけるという基本方針のもと活動してきました。メンバーからのお力添えもあり5名の新入会員を迎えることができました。

しかしながら、掲げた基本方針とは全く逆の行動を年間を通して行ってしまったことはひとえに委員会の機能が崩壊していたこと、委員長主導のガバナンス自体が取れていないこと、無計画の無行動が招いた結果であり、引き継ぐべき経験も実績もなくただただ猛省の限りです。

その一方で、メンバーから情報をいただいた候補者には、直接会い青年会議所の魅力、想いを真正面からぶつけるということは少なからずともできたと考えます。

次に己の心に忠実に踏み進める意志をもち、旺盛な意欲と好奇心を醸成していただくことで、勇気ある一步を踏みだしていただくことを目的とし3月例会を開催しました。理事長の掲げる理想のリーダー像を伝え、また類似の経験者をお招きしての講師講演でメンバーの皆様の学びとしていただきました。しかしながら、リーダー像は、メディアの報道するものや伝記などの創作物においてある一定の共通概念が存在しこれらの払しょくが至難であったと考えます。これは、リーダー像だけでなくある一定の共通概念や定義をすでに知り得ているものは、ステレオタイプがごとく、知ってから定義づけるのではなく、定義づけてから知るためそれらの定義を上書きすること、もしくは新しい概念を披露するよりもまずは事前の認識確認や概念の咀嚼企画などを設けて、本編よりもプロローグに力を注いだ企画構成が必要であると考えます。

そして、第1回新入会員予定者オリエンテーションでは新入会員予定者の方にまずは青年会議所の基礎を学んでいただき、青年会議所の基礎、歴史、組織構成、セレモニーの意味、活動を通して目指すものが何も分からない中で、基礎知識講座を聞いて分かりやすかった、理解できたとの声をいただきました。何を始めるにも第1に知識を得ないことにはその後の経験に発見はないと考えますので今後もこのような企画を継続していくとよいことを引き継ぎとさせていただきます。

また、第2回新入会員予定者オリエンテーションでは、メンバーとの交流を深め仲間意識をもっていただくことを目的としてコンセンサスゲームの実施をしました。メンバーと取り組み課題を一緒に解決していくことで交流は深まり仲間意識をもてたとの声を新入会員予定者の方からいただきました。例年、交流企画をスポーツなどで行っていますがこうしたチーム活動は交流だけでなく一体感が生まれることから重要であると考えます。しかしながら、わかりやすいスポーツとは違い、複雑な企画であるほどリードする委員会の規格の理解度・習熟度が求められます。この点を失念し、共同作業に主眼を置きすぎたことは反省として申し述べさせていただきます。

オリエンテーションの最後、第3回新入会員予定者オリエンテーションでは第59代理事長加藤昌之君に講師として、活動にかける想いを感じていただきJAYCEEへと成長していただくことを目的としました。理事長が青年会議所活動において、今までされてきた経験、熱い想いを新入会員予定者の方に伝えていただき、3回にわたるオリエンテーションを通して、これから始まるJC活動の大きな指針としていただけたものと確信しております。

さらに、新入会員にメンバーの一員となった自覚をもっていただき、現役メンバーとともに一致団結して新たなJAYCEEとして一步を踏み出していただくことを目的とし11月例会を開催しました。新入会員の方にセレモニーを行っていただきました。その中で、メンバーと同様にリハーサルを行い、設営も手伝っていただきました。企画では、新入会員と現役メンバー一緒に一つの課題を皆で協力し課題を乗り切っていたことから、新入会員の今後の活動に対する意気込み発表からも熱い想いを感じ、その言葉を聞いたメンバーも入会当時を思い出した、これからの活動が楽しみという声をいただいたことから、新たなJAYCEEとしての一步を踏みだしていただいたと考えます。

最後に、基本方針は達成できたと考えておりますがそれらに委員会としての努力と行動が伴っていないことから胸を張っての申し送りができないことが心苦しく思いますが、海部津島を先導すべく、多少なりとも組織力が向上できたものと確信しております。

5. 委員長所見

「魁！組織力向上委員会」は字のごとく「組織力向上」を目的とした委員会です。

組織力向上という部分に関しては、メンバー数は増え、メンバーは新たな役職も担い、次のことに向けて活動をしていることから、組織力向上は少なからず向上したと考えています。その中で多くの同志を迎え入れるということは、目標としていた数字には届きませんでした。メンバーの巻き込み不足、候補者のリサーチ不足というのは間違いなく私の責任だと感じております。また、新入会員予定者のフォロー不足もあります。まずは、自分自身が動き行動で示すことで、メンバーの気持ちを触発し拡大活動も活発に行われたのではないかと考えます。自分自身が毎日毎日やりたくないという気持ちが先行してしまいました。友情を掲げている団体なのだから手伝ってくれて当然。むしろなぜ手伝ってくれないのか。という自身の甘えが招いた結果であることは否めません。自身の力量とキャパシティの認識不足、できないことを改善せず何度も同じことを繰り返す。こうした姿勢は悔い改めてまいりたいと考えております。しかしながら、こうした状況下でも最後まで職に就いていたことは、メンバーの皆様のお力添えあつてのことと思います。本当にありがとうございました。

最後に副委員長をはじめ多くのメンバーのご協力がありました。迷惑ばかりかけました。青年会議所活動は

ひとりではできないと強く感じました。例会、事業、拡大活動をとおして多くの学びをさせていただきました。この学び、そしてこのご恩を返すためにも今年度の経験を次年度に活かします。全メンバーの皆様に感謝申し上げます、委員長所見とさせていただきます。

6. 収 支 決 算

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|------|-------|-----|-------|------|-------|-----|-------|
| 予 算 | | 決 算 | | 予 算 | | 決 算 | |
| 事業費 | 3,100 | 事業費 | 3,002 | (2) | 3,100 | (2) | 3,002 |
| 合 計 | 3,100 | 合 計 | 3,002 | 合 計 | 3,100 | 合 計 | 3,002 |